

土木学会

平成19年度「重点研究課題(研究助成金)」報告書

研究課題名

「応用力学ウィキペディアプロジェクト」

研究代表者名

吉川 仁(京都大学・学術情報メディアセンター・助教)

研究体制

- 推薦者:

応用力学委員会 委員長 田村武

- メンバー構成

本プロジェクトは、土木工学の応用力学分野の若手研究者を中心に、土木学会の各支部に対応する地区単位でグループを構成する。プロジェクト構成員である若手研究者をエディタ(責任者)とし、各地区でエディタを支援する補編集者群を修士以上の学生を中心として構成する。また、必要に応じて応用力学小委員会よりメンバーの推薦を依頼し、広い専門分野をカバーする。

- プロジェクトリーダー:

吉川仁(京都大学・学術情報メディアセンター・助教)

- プロジェクトメンバー

堀宗朗(東京大学・地震研究所・教授)
市村強(東京工業大学・大学院理工学研究科・准教授)
安田浩保(土木研究所・寒地土木研究所)
山川優樹(東北大学・大学院工学研究科・助教)
紅露一寛(新潟大学・大学院自然科学研究科・准教授)
田中聖三(中央大学・理工学部・助教)
内田龍彦(広島大学・工学研究科・助教)
中畑和之(愛媛大学・工学部・講師)
棕木俊文(熊本大学・工学部・准教授)

1. プロジェクトの目的

土木学会が有する専門知識を社会に発信するため、ウィキペディアを利用することが考えられる。ウィキペディア (Wikipedia: <http://jp.wikipedia.org>) は、若年層はほぼ普遍的に利用するネットワーク百科事典であり、専門用語の意味や解説を調べ業務や研究に利用されている。その第一歩として、本プロジェクトでは、応用力学委員会が主体となり、さまざまな土木工学の分野の専門知識を縦系とし、応用力学という横系で束ね、正しい情報を体系的に発信するための、運用方法を検討する。

2. 背景

従来、専門的な知見や専門用語の意味は、各分野の専門書や用語辞典などを参考にしてきた。近年では、文献などを調べる前に、ウィキペディアを用いて手軽に情報を収集する傾向が見られる。特に、土木を専門知識として初めて学ぶ学部生などに、その傾向は顕著である。ウィキペディアには土木工学に関連する応用力学用語は掲載されているが、その数は十分ではない。また用語が掲載されていても説明が不十分であったり、誤った内容を掲載しているものも存在するのが現状である。

3. 活動計画・方法

各地区の分担、管理する期間を決めて地区の持ちまわりで用語の編集・整理・管理を行う。この際、二つの工夫を行い、ウィキペディアを永続して運用できる方法を模索する。

- (a) 地区間の競争を促すことにより活性化状態を維持する。具体的には、大学院生を中心に編集を行い、エディタが責任を持って更新内容をチェックする。大学院生が自ら文献等を参考にし得られた知見をウィキペディア上に反映する事で、大学院生への教育効果も期待できる。
- (b) 体系化の具体的な手法として、分野の知識を縦系、応用力学を横系という構成を考えている。分野間の意見の調整が必須となる。相互の調整を行うことで、自然と分野の壁が除かれ、分野間の交流を促すことが期待できる。

4. 本研究助成金による活動

学生がウィキペディアでの用語編集を自主的に継続して行えるような環境やシステムの構築を検討し、各地区において試行的に実施した。また、年度末に各地区の学生を集めた合宿を行い、ウィキペディアの編集作業を行った。合宿では、参加者がより一層土木工学分野に興味を持つように、参加教員がミニ講義を行った。学生から、他大学の教員か

ら講義を受けられる良い機会であり、勉学や研究の刺激となったとの感想を得た。なお、具体的な活動は次の通りである。

- 平成 19 年 4 月 26 日
第 1 回打ち合わせ (東京大学地震研究所にて) 参加者 4 名
– キックオフミーティング
- 平成 19 年 6 月 6 日
第 2 回打ち合わせ (東京大学地震研究所にて) 参加者 7 名
– 運営方針の詳細決定
– 各地区での編集者群 (学生を中心とする) を構成, 編集作業の開始
- 平成 19 年 9 月 10 日
第 3 回打ち合わせ (広島大学にて) 参加者 5 名
– 運営方針の見直し
- 平成 20 年 3 月 19 日-21 日
ウィキペディア合宿 (小樽にて) 参加者 22 名
(応用力学委員会委員: 2 名, エディタ: 7 名, 学生: 13 名)
– ウィキペディア編集作業
– ミニ講義
– プロジェクト継続について

5. 活動成果

H19 年度の活動により, ウィキペディアに追加・編集した土木工学用語は 65 項目になる。これらの項目の多くはウィキペディアにおいて用語「応用力学」のページからリンクされている。用語「応用力学」のページに記載されている未編集用語をはじめとする土木用語の編集を継続して行い, ウィキペディアの土木用語を充実させることが今後の活動となる。

6. 活動経費

旅費交通費:	684,100 円
会場費:	115,900 円
合計:	800,000 円

7. 謝辞

本研究助成金により, ウィキペディアプロジェクトを立ち上げる事ができた。助成金を用いて行われた合宿において, ウィキペディアの用語編集が大幅に捗った。また, 各地区の教員・学生間で人的・学術的交流ができた。このような機会を提供して頂いた土木学会に感謝の意を表す。